



一般社団法人

富山県作業療法士会 ニュース

平成22年度 No.4 第99号 平成23年1月20日

発行 富山県作業療法士会

会長 田村良子

印刷 株式会社エツ

富山県作業療法士会ホームページ <http://toyama-ot.sakura.ne.jp>

富山県作業療法士会会員数：431人

第12回富山県作業療法学会を終えて

山田温泉病院 橋爪佳美

去る平成22年9月19日(日)サンシップとやまにて開催致しました県学会には、県内外の作業療法士、他職種学生も含め、216名という多くの方に参加して頂き、心から感謝申し上げます。

県学会は、県内に散らばっている仲間が一同に会する数少ない機会です。日頃の臨床の成果を発表する場であるのはもちろん、情報交換の場でもあり、お互いの悩みを話し合ったりまた、仲間からパワーをもらったりできる場だと思います。

今回の学会では、ひとりひとりが自ら参加し、“観て、触れて、感じて”それを臨床の場に持ち帰り“実践して”頂けたらという思いで企画しました。

今回、県学会では初の試みであるアクティビティ教室を行いました。アクティビティ部会の部員の方にも運営に関わって頂き、また複数の施設から工夫を凝らした作品や自助具を提供して頂きました。当日は、どのテーブルも大盛況で、和気あいあいとした雰囲気が進められていました。ここで紹介されたアクティビティを各職場に持ち帰ってどんなふうに展開されたか、是非知りたいなと思います。報告をお待ちしています。

特別講演では、誠愛リハビリテーション病院の瀧雅子先生に「ADL評価とアプローチ～質的向上への介入～」と題して、実技を交えながらお話をして頂きました。質の高いADL獲得へのアプローチには、より効率的で効果的なADLの追求が重要であること、ADLは随意的運動であるが、その背景にある無意識的な姿勢制御機構により成り立っていることなどについて、具体例を挙げながらお話をして頂きました。そして、「更衣」を隣同士で行い“観て、触れて、感じて”頂きました。参加者からは「わかりやすくよかった」「実技がもっとあればよかった」といった感想が聞かれました。限られた時間ではありましたが、有意義な講演であったと思います。

そして何よりも、日頃の臨床の成果をまとめ発表して下さった皆さんに拍手を送りたいと思います。特に若い人の発表が多く、真摯に対象者に向き合い日々頑張っている姿が目につきました。フロアか

らも活発な質問が飛び交い、まさに自ら参加する学会であったと思います。

今回、たくさんの方々のご協力のお陰で学会長という大役を無事に務めることができました。運営委員長をはじめ委員の皆さん、瀧先生、発表やアクティビティ提供、座長や査読を快く引き受けて下さった皆さん、いろいろアドバイスを下さった諸先輩方、後援協賛団体様、会場や看板印刷等の業者さん、そして当日足を運んで下さった参加者の皆さん…私にとって大きな出会い、経験、財産になりました。本当にありがとうございました。

県士会が一般社団法人になり会員数も増え、県学会は今後ますます活発なイベントになると思います。会員もとより、広く一般県民に向けても作業療法をPRできる機会になります。運営はたいへんですが、自分のアイデアを形にし、実現していく楽しさがあります。「せっかくやるんだから、重荷だと思わないで楽しみましょう」JT先生が私に言って下さった言葉です。会員ひとりひとりが、できる範囲でいいから何らかの形で毎年学会に関わっていけば、もっともっと素晴らしいものができると思います。一人ひとりの力は小さいけれど、集まれば大きな力となります。次の学会も皆さんで盛り上げましょう！



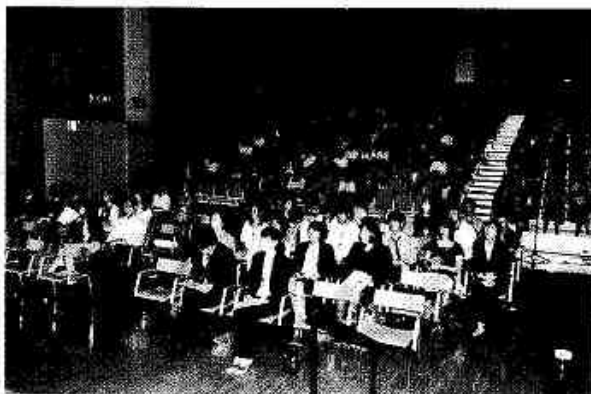
第12回富山県作業療法学会を終えて

第12回 運営委員長
シルバーケア栗山 小倉 佐織

一般社団法人となった第1回目の県学会。「失敗するわけにはいかない」「粗相があってはいけない」「私にできるだろうか」と不安を抱えながらのスタートとなった。学会長とは、以前にも県学会の係で一緒にさせていただいたことと、「小倉さんがいい」と言われ、職場の同僚にも協力しますと後押しをもらい、つい引き受けてしまった。

ちょうど一年前から始まった準備には、初めてのことも多く、県士会員が学会に参加したいと思ってくれるような催しものや宣伝はどうしたらいい？後援や協賛はどこをお願いしたらいい？など準備に段取りが分からなかった。学会長と「どんな学会にしようか？」と話した日々が今となっては、懐かしく思う。学会のコンセプトもそうだが、最初に運営委員を決めなければいけず、どの人に頼もうかと悩み迷った。この時ほど、人との繋がりがって大事ななあと感じたことはなかった。幸い、富山地区には、頼りになる先輩方、同期、後輩がおり、皆さん快く引き受けてくれたことをありがたく思った。運営においては、各係がその仕事を理解しているため、私は調整役に徹すればよく、本当に頼りになる運営委員でよかった。

今、振り返ってみると裏方仕事・関係機関との連絡調整・文書の書き方などたくさんのことを勉強させていただいた。自分一人で抱え込まず、困ったことは人に聞くこと、「出来ない」ではなく、「出来る方法がないか」を考える。そうやって何とか進めてきた。世の中には知らないことが山ほどあり、今回の一つ一つの経験が、私を作ってくれるんだと思った。多くの人に支えられ、無事に学会が終了したことが、私にとって忘れられない平成22年の出来事となった。



第12回富山県作業療法学会を 振り返って

富山市民病院 佐々木 和也

去る9月19日に「第12回富山県作業療法学会」が富山市のサンシップ富山で開催されました。今回の学会テーマは「生活者としての感性を研ぎ澄まそう！～観て、触れて、感じ、そして実践へ～」と掲げられ、特別講演、演題発表、Activity教室が行われました。

私は運営委員として参加し、Activity教室の企画・運営に携わってきました。Activity教室は富山県作業療法学会として初めての試みであり、本学会の目玉企画であり、不安要素の一つでもあったのではないかと思います。「作業療法といえばActivityだ、作品展示だけでは伝わらないOTとその対象者の感性を実感し、そして実践して欲しい」という橋爪学会長の思いから浮上したのがこの企画でした。最初は、「これぞOTらしい学会になる」と意気揚々と企画・準備に取り掛かりました。しかし前例のないこの企画、実際の進行、費用等計画を進めるにあたり苦悩する事項が多々出てきました。中でもアドバイザーとしてActivityを提供してくれる人が現れるのか、という不安が申し込み期限ぎりぎりまでありましたが最終的には4名の方の応募がありました。当日は演題発表と同時進行となり、会場は6階にある為、教室参加者が来ないのではないが、告知不足だったのではないかと等、学会当日に至っても不安は絶えませんでした。しかし、開始時刻と共に参加者が集まり、次第に教室内は参加者で大賑わいとなりました。私はカメラを手に「たくさんのOTに学会長の思いが伝わったのだ、皆OTを愛しているんだなあ」と感動しながらその光景をカメラで撮りまくっていました。この新しい試みを企画し実行に踏み切った学会長の熱い思い、アドバイザーとして参加して下さった先生方の御陰でこの企画・運営に携わり県内OTのActivityに対する熱い思いを感じることが出来た事に感謝したいです。

最後に、このActivity教室が次期学会以降でも企画される事を願っています。



第12回富山県作業療法学会に参加して

国立病院機構富山病院 上丸 堅司

今回の学会は特別講演の瀧先生の講演内容にも実技が含まれ、アクティビティ教室で実際に体験出来るなど、観て、触れて、感じられる、とてもためになる学会でした。また、一般演題も興味深いものばかりでとても面白かったです。

私は今回初めて一般演題発表させていただきました。学生のころから参加していた学会の舞台上、自分が発表するのはとても不思議な感覚でした。何から何まで初めての経験だったので、どのように進めて行けば良いのかも分かりませんでした。職場の先輩や他施設の先生方にも協力していただき、抄録、発表原稿を準備していきました。しかし、発表当日になり、壇上に立つと緊張のあまり頭が真っ白になり、質問していただいた事に上手く答える事が出来ませんでした。終わった直後は自分の不甲斐無さと協力していただいた先生方に申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、そんな時にも先生方は温かく声を掛けて下さいました。

発表を終え、この発表は自分一人では絶対に出来なかったと思います。抄録や発表原稿まで見ていただいた職場の先輩や他施設の先生方にはとても感謝しています。そして、自分は持っているなど思いました。素晴らしい先輩方を…。ありがとうございました。

このままでは終われないので、この経験を糧に、また次回の学会で発表し、リベンジしにいきたいと思います。その際には、御粗末な発表になるかもしれませんが、傾聴していただき、質問・アドバイス等をいただくと幸いです。よろしくお願いします。

今回の学会を通し、さまざまな経験をする事が出来ました。そして、実際に経験する事が1番自分の身になりやすいという事がわかりました。これからも臨床だけでなく、いろいろな学会や研修会に積極的に参加し、実際に観て、触れて、感じながら学び、患者様に反映出来るよう頑張っていきたいと思っています。

第12回富山県作業療法学会に参加して

となみ三輪病院 澤田 香織

今回の学会で私は、「両片麻痺を呈した関節リウマチ患者の自宅退院を目指して」という演題で発表させていただきました。この症例は、私は作業療法士になり初めて担当させていただいた方でした。また、重度の障害を持ちながらも望んでいた自宅に退院できたこと、病棟職員と連携して介入できたこと、退院に至るまでに様々な苦労があったことなど、とても印象に残る方だったので発表を決意しました。臨床経験が浅くまだまだ学生気分も抜けきっていない私ですが、今回の発表に対してはあまり気負わず、自分が作業療法士として症例にどのようなことを行い症例がどのような経過を辿ったのかをただみなさんに紹介できたら、という気持ちで臨みました。

しかし準備を進めるにつれて、この症例を発表するにあたって一番伝えたいことは何なのか…要点を明確にし、主題から外れることなく、聴いている人が分かりやすい内容・話の流れを構成することの難しさを実感しました。先生方からの多くのご助言の

おかげで、何とか形になり当日の発表を迎えることができました。この場を借りて御礼申し上げます。

当日の発表はやはり緊張しましたが、終わった後の達成感はそれ以上に大きかったように思います。そして、色々な分野で活躍されている先生方の取り組みを聴かせていただき、大変参考になっただけでなく、私も今の自分にできることを頑張らなければと刺激を受けました。Activity教室にも参加したかったのですが、後に発表が控えているということで精神的に余裕がなく結局参加できなかったのは残念でした。

今回の発表を通して、理解不足な点やプレゼンテーションの仕方など自らの課題も見え、とても良い経験となりました。日々坦々と業務を行うのではなく、担当させていただける患者様の状態や経過、自分が行ったアプローチについて振り返り深く考える機会をできるだけ持ちながら今後も頑張っていきたいと思っています。

「基礎医学部研修会」に参加して

アルペンリハビリテーション病院 前澤 仁志

基礎医学部会では年1回の研修会を企画・開催しており、今回は「上肢骨折に対する作業療法 ～見かたと治療のコツ～」がテーマでした。平成22年10月30日、健康科学大学より佐藤真一先生を講師としてお招きし上記内容での研修会を開催しました。

講義の内容としては上肢骨折の基本的な治療法、臨床上よく目にする骨折のタイプはもとより解剖的な側面から上肢の動きについて講義をして頂き、大変分かりやすく普段整形疾患に関わることの少ない方でも興味を持てる内容となっていました。特に前半では手術の術式や最新の医療機器やプレートについての説明もあり、最新の情報を聞くことができました。また後半では実際の作業療法の実技や佐藤先生の経験の中での自助具や簡単に作成できる治療用

具も紹介して頂き、明日からでもすぐ実践できるように感じました。上肢を機能解剖学的に視ることは当然ながら作業療法士として必要なことですが、構造が理解できなければ正しい治療に結びつかないことを今回改めて思い直す研修会でした。

研修会終了後も質問が多く制限するほどとなりましたが、全ての質問に丁寧に答えて頂きました。骨折の治療のみではなく佐藤先生の実体験に基づくコミュニケーションの重要性も教えて頂きました。

今回研修会に参加して上肢の骨折に対する治療の知識が深まったことはもちろんですが、それ以上に自分の知識不足を実感しました。これからは佐藤先生の講義内容を復習し臨床場面で活かしていけるよう日々努力していきたいと思います。

「喀痰等の吸引」に対する研修会に参加して

老人保健施設 みしま野苑一穂 田邊 はるみ

平成22年10月23日に、国立病院機構富山病院リハビリテーション室で行われた、喀痰等の吸引に対する研修会に参加してきました。今回は、呼痰の実技があった為、大変楽しみに参加させて頂きました。学生の頃の…はるか昔の記憶を思い出しながら、呼吸器系の解剖・生理を学びました。呼吸・排痰に対する援助では、県中の理学療法士の池田先生が、体位排痰法に関してとてもわかりやすく説明され、とてもわかりやすい資料も頂きました。（とても1回では、覚えられそうにないので…資料を見ながら確認していきたいと思っています。）吸痰に対する知識・技術・リスクについて、国立病院機構 富山病院の看護師の方から、わかりやすい指導をうけ、いよいよ実技を行いました。吸引をする側・させる側をそれぞれ体験でき、実際に吸引をされてみて、「思ったより苦しくないな…と思いつつ…口に吸引カテーテルが挿入されるまでは、ときどきしながら、

怖いな…」と思っていました。とても貴重な体験ができました。

今回、訪問リハビリの仕事をしていく中で、吸引・喀痰についてしっかり学びたいと思い、参加させていただいた研修会でしたが、とても楽しく3時間余りの時間が「あ…」と言う間に過ぎました。普段聴診器を使うことはなく、（お恥ずかしい話ですが）聴診器の使い方もよくわからず、研修会に参加しましたが、実技の中で細かく丁寧に指導してもらい、本当に自分自身楽しく学べたな…と思います。

今後仕事をしていく中で、気管内吸引法を学んだことを生かし、しっかり技術を磨いて安全に実施できるようになっていきたいと思いました。

今後、第2回・第3回と研修会が開催される予定なので、ぜひたくさんの方の皆さんにも参加していただきたいと思っています。（私もまた参加したいです…）

平成22年度 第7回理事会議事録

場 所：富山医療福祉専門学校

日 時：平成22年11月22日（月）19：00～

参加者：田村、作田、松岡、高林、田邊、橋爪、
谷口、広野、浅生、吉波、高岡

以下のことについて検討し、承認された。

〈検討課題〉

1. 23年度事業計画案の検討

- ・事業計画案は承認
- ・研修会日程については全体会の場で調整
- ・作業療法についての広報活動推進担当部を広報部に置く方向で検討

2. 諸規程について

- ・旅費、謝金についてOT協会の規程と同じにし、謝金の県士会員1時間3,000円は廃止する。全体会で規程を配布する。
- ・その他の規程は継続審議

3. 県士会パソコンメールアドレスの取得について

- ・使用目的・範囲や管理・担当者等の検討が必要

4. 富山市介護認定審査会・障害程度判定審査会委員、高岡市介護認定審査会委員の推薦 渉外部長橋爪氏が対応

5. 23年度リハビリテーション懇話会シンポジストの依頼

「在宅の嚙下障害へのアプローチについて、OTの現状を話す」ことから関わっている士会員に会長より依頼

〈報告事項〉

1. 吸引研修会10月23日開催

実技指導をおこなったが、さらに時間をふやして欲しいとの要望があった。来年度にも1回実施する予定。

2. 平成23年度作業療法推進活動パイロット事業助成制度の応募

23年度は見送り、発達部会が24年度に応募

3. 富山県PT・OT・ST合同訪問リハ研修会

- ・11月15日に会議をした。2、3月中に研修会を開催。

第1回は現状報告とする。

- ・高岡氏より東海北陸支部各県士会の取り組み状況

4. 23年度富山県作業療法学会（学会長松岡氏）

- ・10月2日砺波文化会館
- ・特別講演－物語り診療所佐藤先生
- ・実行委員長－南砺市民病院下田氏

5. 東海北陸作業療法学会

- ・参加費徴収時の協会員確認のため協会員名簿提出を了承
- ・23年度は福井県開催。11月19、20日
- ・富山県は25年度担当
- ・早川氏－シニア海外協力隊ニカラグアへ

開業奮闘記(その3－よもやの挫折－)

リハビリ・デイサービスおやべ 管理者 北野 満

県高齢福祉課の担当者の方が念のため高岡市の担当者に確認して下さり、「高岡市はデイサービス設置を許可していないそうです。不動産との契約は市の方にもう一度確認してからの方がいいのでは…」口頭で許可をもらったはずなのに、不動産との契約直前の電話に驚き、早速高岡市に確認したところ、「今期の事業計画に入っていないので難しい。一応設置要望書を提出してください。」

その夜、徹夜で要望書を書き上げ、翌日に提出し必要性を説明するが反応は思わしくなく、後日もう一度説明に伺ったが厳しい返事で、さらに数日後高岡市より正式に断わりの電話を受けた。何の準備もなく辞表を提出した自分の愚かさを嘆き、本当に失業してしまう挫折感に襲われた。

ふと、「高岡市は長年働き知っている患者さんが多いが、仕方がない。今、発展中の砺波市もあるじゃないかと」早速砺波市の市場調査を始め、良さそうなテナントも見つけ、砺波市にも要望書を提出。結果は高岡市と同じく…。

「同じく発展中の射水市は…」結果はやはり同じく…結局挫折感を強めるだけの結果になってしまった。福野町、津幡町も考えたが、辞表提出直後も居酒屋で相談した金沢大学のS田教授の「やるならまずは地元小矢部だろう」の言葉が頭の片隅に浮かんだ。地元だけは嫌で、そのときは気にも留めなかったが…

Activity 紹介

筒絵作り

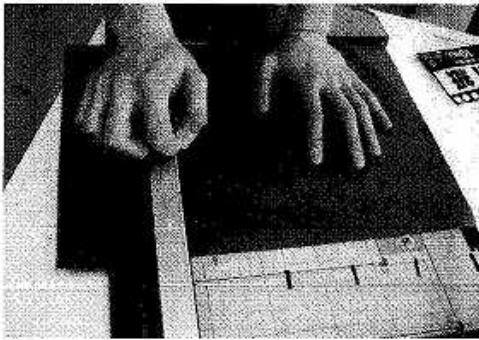
松風会 松岡病院 長瀬 健二

材料：画用紙 模造紙・画用紙（下絵用紙） 両面テープ（細め）

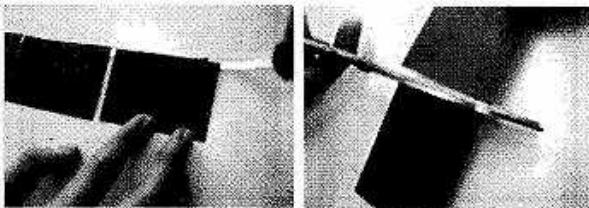
道具：ボンド・裁断機（ハサミでも可）・ハサミ・棒（筆など細い棒）

筒作り

- ①画用紙を裁断機（ハサミ）で同じ大きさに裁断していきます。（写真の大きさは縦5cm・横6cmです）



- ②裁断した画用紙に両面テープを貼っていき、画用紙間をハサミで切っていきます。（画用紙間の方に少し隙間を開けると切りやすくなります）



- ③両面テープを剥がします。



- ④棒を使って丸めていきます。

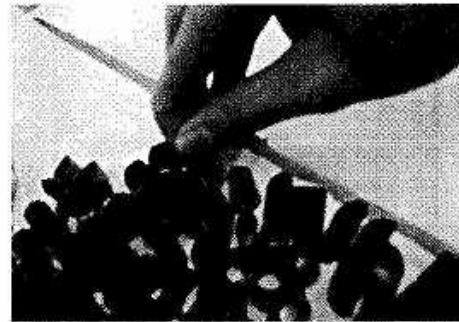


- ⑤丸めた画用紙をハサミで均等（当院では4等分）に切っていきます。

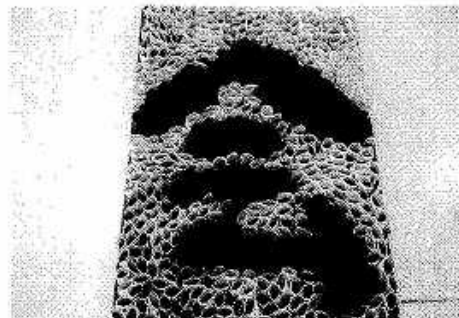


筒貼り

- ⑥ボンドを使って④で作成した筒を模造紙に貼っていきます（模造紙は事前に下絵を準備しています）段ボールの上に模造紙を乗せておくと運びやすく、崩れにくいです。



- ⑦完成です！出来上がった作品はOT室に飾っています。季節に合わせて作品テーマを変えたり、「クリスマス会」など行事の看板にしてもいいと思います。



当施設は、小矢部市石動にあり近くには小矢部市役所や石動駅などもあり街の中心地に位置しております。施設概要としては、入所(長期入所)100床、通所リハ最大70名の施設で、他ににしの内科病院(63床)、ショートステイ(35床)、デイサービス(20名)もあります。

リハビリスタッフはPT5名、ST1名、OT3名で、そのうちPT2名、ST1名、OT2名が当施設で勤務し入所・通所のリハビリを実施しています。

施設行事として、誕生会・納涼祭・運動会・家族介護教室・ドライブ(お花見、菖蒲見学など)等を行っており、どの行事もスタッフ一同全員で運営し、毎回利用者様やご家族が楽しみに参加されています。また、当施設が街中にあることから毎年5月に開催される小矢部獅子舞祭りで地域の皆様による獅子舞の披露やボランティア・学生・保育園児などによる施設訪問が多数あり、地域の皆様と共にある施設となっております。

リハビリでは、主に作業活動や脳リハビリ、身体機能訓練、ADL訓練等を実施しています。また、中庭を

望む構造となっている事から歩行練習としてフロア1周回れるようになっております。最近では、介護スタッフとも連携し集団リハビリや体操なども積極的に実施しております。利用者様の楽しそうな笑顔を見るとスタッフも元気をもらえるので、これからも利用者様が楽しく充実した生活を送れるようスタッフ皆で協力して頑張っていきたいと思っております。



財務部からのお知らせ

一般社団法人富山県作業療法士会会費納入についてお知らせします。会員の皆様にはご協力頂き、ありがとうございます。平成22年度会費納入状況ですが、以下の方は未納となっております。申し訳ありませんが、1月末までに下記口座に振込みをお願いします。

未納者 三輪病院 鈴木智香氏・南砺市民病院 鷲尾智子氏・自宅 市山薫氏

振込先 銀行名 ゆうちょ銀行 口座名 一般社団法人富山県作業療法士会

口座番号 00790-0-30992

尚、会費納入に関する問い合わせは富山市民病院 古澤までお願いします。

平成22年度 会員異動 (H23.1.20現在)

氏名	所属	異動	内容
中 沢 知 子	富山労災病院	異動	旧所属：横田病院
熊 南 清 夏	自宅	改姓・異動	旧 姓：牧野 旧所属：みしま野苑一穂
佐 賀 真 也	高岡整志会病院	異動	旧所属：アルペンリハビリテーション病院
衣 笠 佳 那	済生会 富山病院	改姓	旧 姓：水上
早 川 俊 秀	自宅	異動	旧所属：高志リハビリテーション病院
前 田 佐矢香	富山協立病院	改姓	旧 姓：椎名
木 下 佳菜恵	介護老健 ゆうゆうハウス	退会	石川県へ
青 山 琴 美	榎谷整形外科デイケア	退会	
堀 友 里	厚生連 高岡病院	改姓	旧 姓：高瀬

※異動がある場合は事務局までご連絡をお願いします。

異動・休会などの場合はお早めにご連絡下さい。宜しくお願いします。

作業・理学療法士募集

リハビリテーションケアを一緒にやりませんか？

- 待遇** 当法人給与規定による優遇（委細面談）
休日 年間115日＋リフレッシュ休暇5日間（連続）
研修制度 当法人が回復期モデルとしている初台リハビリテーション病院（東京）や相澤病院（長野）での長期・短期研修制度あり。
病院概要 [入院医療] 回復期リハビリテーション病棟
[在宅支援] 通所リハビリテーション
「あいの風」
訪問リハビリテーション
関連施設 医療法人社団
アルペン会 アルペン室谷クリニック
社会福祉法人
アルペン会 アルペンケアビレッジ
特別養護老人ホーム アルペンハイツ
ケアハウスとやま
応募方法 電話でご連絡下さい（担当：中村、北山）

リハビリテーション病院 アルペンリハビレッジ ALPEN REHAVILLAGE

〒931-8442 富山県富山市橋木300番地
Fax: 076-438-7780 www.alpen-reha.jp

Tel. 076-438-7770



作業療法士 理学療法士 言語聴覚士募集

急性期リハ・回復期リハ・通所・訪問リハ・外来リハ、総合的なリハビリテーションを実施しています。一緒に患者様をトータルサポートする仲間大募集★☆☆

- 募集人員** 作業療法士（5～6名）・理学療法士（2～3名）・言語聴覚士（1～2名）
募集対象 経験者・平成23年度新卒者
*特に経験者は歓迎します
応募締め切り 経験者：随時 新卒者：H22年8月31日
待遇 当法人給与規定により優遇
昇給年1回、賞与2回、社保完備、交通費支給、託児施設有
勤務時間 8：30～17：15
休日 4週8休、夏期・年末年始休暇、有給休暇
施設概要 一般病床160床、回復期リハ病床45床、通所リハ（定員20名）、訪問リハ
応募方法 まずは、電話でご連絡下さい。
担当：事務部佐藤

医療法人社団 藤聖会

八尾総合病院

〒939-2376 富山県富山市八尾町福島7-42
TEL (076) 454-5000 FAX (076) 455-3835
URL <http://www.yatsuo.or.jp>

作業・理学療法士募集

- 募集人員** 作業・理学療法士 若干名
待遇 当法人給与規定により優遇（経験年数評価有り）
昇給 年1回、賞与 年2回
各種社会保険、退職金制度有り
勤務時間 9：00～18：00（病院）8：30～17：30（老健）
週休2日制、年次有給休暇（初年度10日）
勤務先 小矢部大家病院
介護老人保健施設ゆうゆうハウス
概況 ・小矢部大家病院 精神科、心療内科、内科の3科
一般（療養型病床群）34床、精神136床
・介護老人保健施設ゆうゆうハウス
入所 80名、通所 20名
応募方法 電話連絡の上、履歴書、免許証（写）を持参
又は郵送して下さい。
面接日 随時

医療法人社団 啓愛会

小矢部大家病院

〒932-8511 富山県小矢部市島321番地
TEL (0766) 67-2002 FAX (0766) 67-2288
ホームページ <http://www.l.tst.ne.jp/ohkahp/>
電子メール：ohkahp@pl.tst.ne.jp

介護老人保健施設ゆうゆうハウス

〒932-8518 富山県小矢部市島322番地
TEL (0766) 67-8008 FAX (0766) 67-8002
ホームページ <http://www.yuyuhouse.com/>
電子メール：yuyu@pl.tst.ne.jp

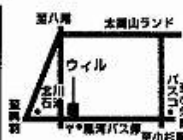


介護保険対応! ベッド・車椅子・レンタル!

車椅子
→ 480円より
ベッド
→ 700円より



株式会社 **ウィル**
TEL (0766) **56-7099**
FAX 56-3395



手芸・毛糸の店

- 手芸糸
 - 刺し子
 - ビーズ手芸
 - マクラメ糸
 - ちりめん手芸
 - その他
- ハマナカ
オリムパス、ナスカ
トーホー、ミユキ
ダルマ、川端
東芸
S.M、M.B他
各手芸材料取り扱いしています。



ボタン・手芸・毛糸

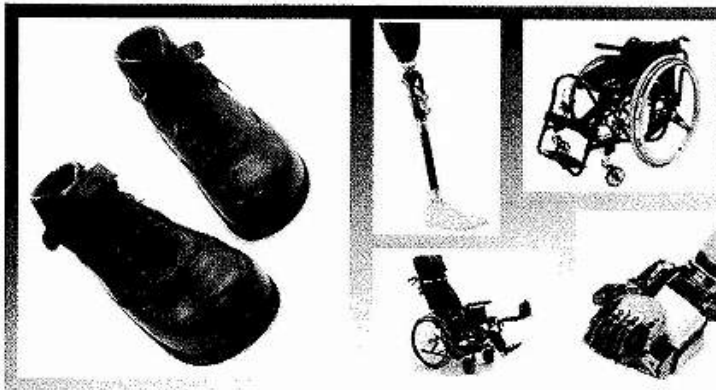


〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9
TEL (076) 421-3444
FAX (076) 421-4334

Toyama

Prosthetics & Orthotics Service

<http://www.tpo-morita.com>



【営業品目】

- 義手・義足・補装具等 製作修理
- オーダーメイド靴 製作
- 車椅子・ストーマ・補聴器
- 福祉用具貸与販売

oticon
PEOPLE FIRST

【ワイヤレス通信型補聴器】

Bluetooth付きの携帯電話や
TV・電話をワイヤレスで直接
聞くことができます。



**(株)富山県義肢製作所
富山県補聴器センター**

〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16
TEL (076) 425-4279
FAX (076) 425-4587
E-mail t-gishi@cronos.ocn.ne.jp

OTを取り巻く状況

田村良子

年末になると今年の「十大ニュース」がとりあげられます。忘れられないのはチリのサンホセ鉱山事故です。昼も夜もわからない、閉じられた空間の中に何ヶ月もいることなど、私には到底耐えることはできない。みんなは何をして過ごしているのだろうか。何を頼りに生きているのだろうか。毎日ニュースから目が離せませんでした。

地下での生活は救出後にNHKで放映されたドキュメントから分かってきました。なんとリーダーは1日を日常生活、仕事、余暇の時間に分けて生活するよう指導していたのです。寝るところを別につくり、仕事は岩盤の補修などでした。学生に「作業療法概論」を教えています。これはまさしく作業療法の人間の作業生活に対する基本の考え方です。管修先生の「作業療法の奏効機転」という精神障害者に対する作業療法の効果について発表された論文の中にも記されていることです。また、前号士会ニュースの中村協会長の記念講演骨子にも、「作業療法は“人は作業をすることで健康になれる”という単純で明快な実践の下、発展してきました」とあります。

障害をもっていても「日常生活、仕事、余暇活動」が生活の中にあるよう助言できるプロフェSSIONナルとなるよう、来年も精進していきましょう。

政権交代はしたものの、残念ながら私たちが関わる医療・保健・福祉・教育・労働の分野では前進は見られませんでした。作業療法士としてだけでなく、様々な政策のもとで生活していく国民として、サービスを受ける側としての声を届けていく必要があります。

賛助会員名簿

(順不同)

会員名(代表者)	住所	備考
温泉リハビリテーション いま泉病院 (理事長 大西仙泰)	〒939-8075 富山市今泉220 TEL076-425-1166	
(株)ウイル (代表取締役 山口裕二)	〒939-0311 射水市黒河3075 TEL0766-56-7099	
酒井医療(株) 金沢出張所 (所長 小木章)	〒920-0053 金沢市若宮町156街区9-1 TEL076-223-4420	
平野重喜	〒930-0008 富山市神通本町2-3-7 TEL076-432-6617	(株) クラフト 工房
富山医療福祉専門学校 (学校長 辻 政彦)	〒936-0023 滑川市柳原149-9 TEL076-476-0001	
(株)スギマサ洋装店 (代表取締役 杉政正規)	〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9 TEL076-421-3444	

編集後記

昨年の「今年の漢字」には「暑」が選ばれ、本当に暑い1年でしたね。その一方で、日本の宇宙航空技術においても、小惑星探査機「はやぶさ」の活躍を筆頭として、私たちの心を躍らせた「熱い」1年でした。

ところでみなさんは、昨年5月に金星探査機「あかつき」と共に種子島から打ち上げられた兄弟機「イカロス」をご存知ですか？イカロスは宇宙ヨットとも呼ばれ、その姿はまるでテニスコート並みの巨大風呂敷です。帆の厚さは7.5μmと極めて薄く（髪の毛の太さは100μm）、太陽の光を受けて進みます。その推力は地球上で0.1gの物体がぶら下がるのと同程度で、初めは分速6cmでした。聞くと遅く感じますが、宇宙の摩擦は微力な為、そのまま進んでも1年後には時速365kmを越えるほど加速するそうです！これは他業界の「はやぶさ」の最高時速を超えていますね。更に、イカロスは太陽光発電によるエンジンの推力も合わせて加速し、昨年12月に地球から約70000000km離れた金星を通過しました。イカロスはこれらの宇宙ヨット航行を世界で初めて実証し、今後は人工惑星として静かに宇宙に漂う予定です。あかつきの様な大きなトラブルもなく、無事に航行を終えたイカロスに、とにかく「おつかれさまでした」と言葉を送りたいですね。(T.T)